

記者発表資料

平成29年6月23日
九州地方整備局
九州技術事務所

「国道220号日南市宮浦 斜面崩壊」における支援対応について
～九州技術事務所での支援状況をお知らせします～

- 平成29年6月20日（火）に発生した国道220号（日南市宮浦地区）斜面崩壊のため、無人化施工機械2台（①分解式遠隔操縦バックホウ、②遠隔操縦バックホウ）が6月22日（木）20時30分に九州技術事務所から現地へ向けて出動しました。
- 今回出動する現場では今後も降雨が予想され、更なる斜面崩壊などの二次災害が想定されることから、有人による施工が困難なため、無人化施工機械による迅速な施工が求められるものです。
- 更なる支援に向けて、本日15時頃に無人化施工機械1台（③簡易操縦式バックホウ（ロボQ））を現地に向けて輸送します。

▲無人化施工機械



①分解式遠隔操縦バックホウ



②遠隔操縦バックホウ



③ロボQ

▲日南市宮浦地区



被災箇所

問い合わせ 国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所
 〒830-8570 久留米市高野1丁目3番1号
 TEL 0942-32-8245（代表）
 <広報班>
 技術開発対策官 小柳 典親
 施工調査・技術活用課長 原 堅次